



## ② 循環型社会形成への取組み

### 廃棄物のゼロエミッション活動の展開

廃棄物については、リサイクル率を目標に設定し、その維持・向上にグループ一体となって努めています。

2016年度の産業廃棄物については、発電所から排出される石炭灰の減少により、発生量は減少しましたが、リサイクル率は93%となり、目標である95%を下回りました。これは、リサイクル処理が困難な特別管理産業廃棄物の発生量が増加したことによるものです。

事務用品等については、環境負荷の少ない物品を優先して調達・購入するグリーン調達に努めています。

#### 《 廃棄物の発生状況 》

		2014年度		2015年度		2016年度				
		単位	会社数	実績	会社数	目標	実績	会社数	目標	実績
産業廃棄物	発生量	千トン	39	161.0	38	—	150.8	38	—	121.8
	リサイクル率	%		96		95以上	93		95以上	93
古紙	発生量	千トン	47	1.1	46	—	1.0	44	—	1.0
	リサイクル率	%		97		93程度	95		93程度	98

WEB 詳細は [九州電力](#) > 関連・詳細情報 (P2参照)  
> 産業廃棄物の種類ごとの発生量及びリサイクル量の実績 (グループ会社)

### 環境・リサイクル事業

九州電力グループでは、環境・リサイクル事業として、(株)ジェイ・リライツが使用済蛍光管・乾電池のリサイクル事業を、記録情報マネジメント(株)が機密文書の機密抹消・リサイクル事業を、九電テクノシステムズ(株)が電力量計のリユース事業をそれぞれ実施しています。

記録情報マネジメント(株)は、従来、シュレッダー・焼却処分されていた機密文書の機密抹消・リサイクルを行う事業をはじめ、再生コピー用紙、トイレトペーパーなどのグリーン製品の製造・販売や文書類の保管事業を行っています。2016年度は、九州電力グループの機密文書を約1,400トンリサイクルしました。

また、九電テクノシステムズ(株)では、60年以上にわたって蓄積してきた電力量計の製造・修理技術と徹底した品質管理をもとに、電力量計の再利用(リユース)を実施しています。スマートメーター等に交換し取外した機械式電力量計のうち、腐食や損傷等が軽微なものについては、自社工場で修理し、ビル等で使用される電気子メーター(証明用電力量計)として再販することで原材料や廃棄物の削減を図っています。なお、再利用した電力量計は、電気子メーターとしては、初めて「エコマーク認定」を受けており、今後も環境にやさしく持続可能な社会の実現に向けた技術開発に取り組んでいきます。



電気子メーター  
(証明用電力量計)

#### 《 九電テクノシステムズ(株)の電力量計リユースの流れ 》



WEB 詳細は [九州電力](#) > 関連・詳細情報 (P2参照)  
> 環境リサイクル事業 ((株)ジェイ・リライツ、記録情報マネジメント(株))

用語集をご覧ください

- 循環型社会
- リサイクル率
- グリーン調達
- ゼロエミッション
- 産業廃棄物